

# 平成28年度 施策評価表

作成年月日：平成29年10月16日	課・グループ名	まちづくり課企画情報グループ
-------------------	---------	----------------

<b>施策名</b>	②バス交通網の利便性向上 5-4-②		
<b>1. 施策の現状分析及び展開方向</b>			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(4) 安全、安心、便利な交通対策の推進	②バス交通網の利便性向上
①施策のねらいと展開方向	●公共交通の充実を目指すため地域公共交通活性化協議会において町民ニーズの把握を行い、通勤・通学・町内巡回バスなどの運行について検討するとともに、地域公共交通総合連携計画に基づき、町内における公共交通空白地域の解消への取り組みや通勤・通学などの交通手段の充実に向けてバス事業者等に対し随時要望していきます。		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	●通勤、通学者等の公共交通の充実のために、バス事業者に対し、運行経費に対する赤字補填を実施しています。 ●高齢者等の通院や生活のための町内巡回バスは、運行経費の負担が増えてきていることから、平成25年10月から、町内巡回バスを国の地域交通関係補助金に該当する路線として見直しを図りながら運行を継続しています。 ●地域公共交通の課題解決のため、国、北海道、交通関係者などで組織する、地域公共交通活性化協議会において将来における公共交通のあり方について検討しています。	●通勤・通学など町民ニーズにあった公共交通の充実を図る必要があります。 ●高齢化が進む中、町内における公共交通の空白地帯を解消し、あわせて町内の施設等を結び、地域活性化のための新たな交通体制の整備が必要です。	

<b>2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況</b>							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化
				成果指標 (総合計画・施策評価)			可能
							不可能
							○ 未計測
				代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定
			町内巡回バス利用者数			○ 可能	
						不可能	
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H25	H26	H27	H28	H28	
目 標	人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	アンケート調査をもとに、ニーズに対応した中で運行経路と運行時刻の改正を行い、利便性の向上を図っている。
実 績	人	1,829	1,947	1,719	1,798	1,798	
達成率	%	91.5	97.4	86.0	89.9	89.9	
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				<b>施策の達成度</b>	・町民の足となる交通手段の確保は、町の施策として必要であることから、今後も継続して実施していく。 ・民間バスの利用者が年々減少していることから、公共交通の積極的な利用について、住民への啓発活動が必要である。 ・利用者ニーズの把握を行いながら、町内巡回バスの運行方法等の見直しに係る検討は必要である。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				<b>B</b>	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

